

## 地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る 令和 6 年度事業の概要について

### 1 国における令和 6 年度基金（医療分）の概要

#### (1) 当初予算額

1, 0 2 9 億円（国：7 3 3 億円、地方：2 9 6 億円）

※令和 5 年度と「同額」

#### 【区分ごとの充当予定額】

区分Ⅰ－1	2 0 0 億円
区分Ⅰ－2	1 4 2 億円
区分Ⅱ、Ⅳ	5 4 4 億円
区分Ⅵ	1 4 3 億円

※負担率は国 2 / 3、地方 1 / 3（区分Ⅰ－2は国 1 0 / 1 0）

#### (2) 対象事業

区分Ⅰ－1	病床機能分化・連携推進事業
区分Ⅰ－2	病床機能再編支援事業
区分Ⅱ	在宅医療推進事業
区分Ⅳ	医療従事者確保事業
区分Ⅵ	勤務医労働時間短縮事業

#### (3) 国の配分方針

- ① 区分Ⅰ－1、Ⅰ－2、Ⅵについては、都道府県の計画額等を踏まえ、予算の範囲内に調整の上、配分を実施
- ② 区分Ⅱ、Ⅳについては、医師少数都道府県や医師少数区域における医師の確保に重点的に基金を活用することを前提に、メリハリある配分を実施
- ③ 過年度に配分した基金で今後執行する具体的な計画のない金額(未計画額)がある都道府県については、未計画額を原則として活用することとし、配分に当たって必要な調整を実施
- ④ 執行予定額を含めた未執行額の検証を行うとともに、地域医療構想の進捗状況と都道府県基金の執行状況を照らし合わせた上で、配分額を決定

※ なお、必要な配分調整は都道府県への個別ヒアリングの上、実施

## 2 本県における令和6年度基金活用事業に係る当初予算額

### (1) 当初予算計上額

1, 084, 910千円 (対前年比 -333, 293千円)

#### ア 継続事業 (47事業)

#### イ 新規事業【事業内容の追加】

##### ① 新次元・とくしま医療人材確保・養成対策事業 (168,875千円)

医師修学資金貸与事業、初期臨床研修医一時金支給事業、臨床研修連絡協議会負担金、看護職員就業確保支援事業に含まれる。

##### ② 医療的ケア児受入体制促進事業 (9,000千円)

### (2) 令和6年度基金の国への配分要望額

863, 156千円

※過去の県計画の目標達成状況や過年度基金の執行残高を考慮し、当初予算計上分のうち、221, 754千円は過年度基金を活用

## 3 各区分における令和6年度事業案

### 区分Ⅰ-1 病床機能分化・連携推進事業 (63, 647千円)

#### (1) 事業の内容

急性期病床から回復期病床への転換等、地域医療構想の達成に向けた病床の機能の分化及び連携等について実行性のあるものとするため、医療機関が実施する施設・設備整備に対する助成を行う事業。

#### (2) R6年度事業案

##### 【過年度基金活用分】

##### ① 病床機能分化・連携促進基盤整備事業 (40,997千円)

##### ② 口腔ケア連携事業 (12,500千円)

##### ③ 地域医療情報ネットワーク体制整備事業 (9,000千円)

##### ④ 地域医療構想実現に向けた活動支援事業 (650千円)

##### ⑤ 医療健康ビッグデータ活用促進事業 (500千円)

**区分Ⅰ－２ 病床機能再編支援事業（６３，１５６千円）**

**（１）事業の内容**

地域医療構想の実現を図る観点から、地域医療構想調整会議等の合意を踏まえ、自主的に行われる病床減少を伴う病床機能再編や、病床減少を伴う医療機関の統合等の取組に対する助成を行う事業。

**（２）Ｒ６年度事業案**

- ① 病床機能再編支援事業（63,156千円）

**区分Ⅱ 在宅医療推進事業（９５，２５６千円）**

**（１）事業の内容**

地域包括ケアシステムの構築を図るため、在宅医療の実施に係る拠点の整備や連携体制を確保するための支援等、在宅における医療を提供する体制の整備に対する助成を行う事業。

**（２）Ｒ６年度事業案**

**ア 在宅医療を支える体制整備（８２，２４１千円）**

- ① 訪問看護体制支援事業（29,000千円）  
② 在宅医療支援のためのかかりつけ医研修事業（18,000千円）  
※一部過年度基金活用  
③ 退院支援担当者配置等支援事業（15,300千円）※一部過年度基金活用  
④ 小児在宅医療提供体制構築支援事業（3,465千円）  
⑤ ICT地域医療・介護連携推進事業（2,376千円）

**【過年度基金活用分】**

- ⑥ 在宅医療・介護コーディネート事業（5,100千円）  
⑦ 新任訪問看護師等人材確保事業（4,500千円）  
⑧ 在宅医療・介護連携サポート事業（4,500千円）

**イ 在宅医療（歯科）を推進するために必要な事業（１１，２６０千円）**

- ① 在宅歯科医療連携室運営事業（9,630千円）  
② 心身障がい者（児）歯科診療対応力強化事業（1,630千円）

**ウ 在宅医療（薬剤）を推進するために必要な事業（１，７５５千円）**

- ① 地域包括ケア・在宅医療推進薬剤師育成事業（1,755千円）

区分Ⅳ 医療従事者確保事業（812,851千円）

（1）事業の内容

医師等の偏在の解消、医療機関の勤務環境の改善、チーム医療の推進等の事業に助成を行うことにより、医師、看護師等の地域に必要な質の高い医療従事者の確保・養成を推進する事業。

（2）R6年度事業案

ア 医師の地域偏在対策のための事業（350,739千円）

- ① 徳島県医師修学資金貸与事業（146,187千円）
- ② 徳島大学寄附講座設置事業（128,000千円）
- ③ 地域医療支援センター運営事業（53,688千円）
- ④ 地域医療総合対策協議会費（4,524千円）
- ⑤ 臨床研修医確保対策推進事業（臨床研修連絡協議会負担金）（3,340千円）

【過年度基金活用分】

- ⑥ 初期臨床研修医一時金支給事業（15,000千円）

イ 診療科の偏在対策、医科・歯科連携のための事業（48,615千円）

- ① 産科医等確保支援事業（28,517千円）
- ② 二次救急医療体制確保支援事業（10,000千円）
- ③ 救急医療等「総合力」向上事業（7,800千円）

【過年度基金活用分】

- ④ 感染制御啓発・多業種人材育成事業（1,080千円）
- ⑤ 新生児医療担当医確保支援事業（1,218千円）

ウ 女性医療従事者等支援のための事業（11,305千円）

- ① 女性医師等就労支援事業（11,305千円） ※一部過年度基金活用

エ 歯科医療従事者支援のための事業（5,992千円）

- ① 歯科医療従事者養成確保事業（5,992千円）

オ 看護職員等の確保のための事業（260,213千円）

- ① 医療施設食材料費高騰対策事業（50,924千円）
- ② 看護職員キャリアアップ支援事業（49,481千円）
- ③ 病院内保育所運営補助事業（36,362千円） ※一部過年度基金活用
- ④ へき地看護職員確保・定着推進事業（20,331千円）
- ⑤ 看護職員就業確保支援事業（20,260千円）
- ⑥ 看護師等養成所運営費補助事業（19,271千円）

- ⑦ 新人看護職員研修事業 (19,053千円)
- ⑧ 医療的ケア児受入体制促進事業 (9,000千円)
- ⑨ 看護学生臨地実習指導体制強化事業 (3,900千円)
- ⑩ 地域保健従事者実践能力強化事業 (1,780千円)

【過年度基金活用分】

- ⑪ 看護師等養成所支援事業 (17,893千円)
- ⑫ 看護職員勤務環境改善推進事業 (11,958千円)

カ 医療従事者の勤務環境改善のための事業 (135,987千円)

- ① 小児救急医療体制整備事業 (84,414千円)
- ② 子ども医療電話相談事業 (36,763千円) ※一部過年度基金活用
- ③ 小児科・産科医師に係る働き方改革モデル事業 (3,000千円)

【過年度基金活用分】

- ④ 医療勤務環境改善支援センター事業 (11,310千円)
- ⑤ 後方支援機関への搬送体制支援事業 (500千円)

**区分Ⅵ 勤務医労働時間短縮事業 (50,000千円)**

(1) 事業の内容

勤務医の働き方改革を推進するため、地域医療において特別な役割があり、かつ過酷な勤務環境となっていると知事が認める医療機関を対象とし、医師の労働時間短縮に向けた総合的な取組に対して助成を行う事業。

(2) R6年度事業案

【過年度基金活用分】

- ① 地域医療勤務環境改善体制整備事業 (50,000千円)

※令和6年度事業案については、当初予算編成時点のものであり、今後、名称、金額、事業区分等に変更になる場合がある。